

カンザス・シティ・ジャズ史年表

ver1.00 2011.6.18
 編修 よういち
<http://www.chasinthebird.com/>

	社会情勢	アンディ・カーク クラウド・オブ・ジョイ	ブルー・デヴィルズ	カウント・ベイシー楽団	ベニー・モーテン楽団	ジョージ・E・リー楽団	ハーラン・レオナード ロケッツ	ジェイ・マクシアン楽団	その他	チャーリー・パーカー	
黎明期 (C) 賑わい始めるKC	before 1922	・1919年 禁酒法施行	1922年11月 ビリー・キングのミュージカルコメディ・レビューに同行してアーミア・コールマンがリーダーのブルー・デヴィルズがKCにやってくる。		1922年 ベニー・モーテン楽団を編成	1919年 ジュリア・リーと兄妹バンドを結成			・1906年 ジェームス・スコット、「Frog Legs Rag」を作曲。 【2】 ・1918年頃 ジェームス・スコット、KCで劇場音楽家、アレンジャーなどに従事 ・1922年11月 WDAFラジオで白人ダンスバンド、クーン・サンダンス・ナイト・ホーク楽団の深夜放送開始、人気を博す	・1920年8月29日 カンザス州カンザスシティに生まれる。	
	1923		・初頭 ウォルター・ベイジ(b)が加入		・10月 Okehレーベルに初吹き込み【4】	・Merittレーベルに吹き込み				3歳	
	1924					・ハーラン・レオナード(as)加入				4歳	
	1925			・バスター・スミス(as/cl)加入 ・ウォルター・ベイジがリーダーとなる。						【3】	5歳 ・カンザス州ダグラス学校の幼稚園に入園
	1926		・テレンス・T・ホルダーがリーダーのダーク・クラウド・オブ・ジョイにアンディ・カーク(as)加入。 ・メアリー・ルー・ウィリアムズ(p)加入するもバンドの世話役に甘んじる。	・エディ・ダーハム(arr/g/tb)加入 ・ホットリップス・ベイジ(tp)加入 ・ジミー・ラッシング(voc)加入		・12月 Victorと契約					6歳
	1927					・2月 KC パセオ・ホールにてフレッチャー・ヘンダーソン楽団と競演【8】 ・12月 中西部・NYを含めた長期ツアー	・Brunswickレーベルに吹き込み【6】				7歳 ・夏頃 ミズーリ州カンザスシティへ移住。 ・ミズーリ州ペン学校に入学
1928			・7月 カウント・ベイシー(p)加入 ・10~11月 KC パセオホールで演奏								8歳
隆盛期 (C) 隆々たる活躍	1929	・10月 世界恐慌の始まり	・1月 テレンス・T・ホルダー追放。アンディ・カークがリーダーに。 ・夏 ジョージ・E・リーの引き立てでKCを本拠地に。 ・9月 フレッチャー・ヘンダーソンがNYローズランド・ホール・ルームの契約の後進にカーク楽団を推薦 ・11月 Brunswickレーベルのオーディションに合格し契約へ。運到したピアニストの交代参加のメアリー・ルー・ウィリアムズがレギュラー・ピアニストに	・エディ・ダーハム脱退 ・Vocalionレーベルに録音【7】 ・カウント・ベイシー脱退 ・12月 ジミー・ラッシング脱退	・エディ・ダーハム加入 ・カウント・ベイシー加入 ・12月 ジミー・ラッシング加入	・ジェス・ストーン加入(arr)					9歳
	1930		・1月 NYローズランド・ホール・ルームで公演。東部中心に活動	・レスター・ヤング(ts)一時加入 ・ホットリップス・ベイジ脱退	・ホットリップス・ベイジ加入						10歳 ・ワイアンドット市に引越す
	1931				・2月 東部ツアー ・末頃 翌年頭 ヴァーノン・ベイジ、ウッディ・ワルター、ハーラン・レオナード、フッカー・ワントンら旧派を解雇	・初頭 ベン・ウェブスター(ts)、エディ・ペアフィールド(as/cl)加入 ・2月 旧派のサム・ヘイズ、エド・ルイス解雇 ・ウォルター・ベイジ加入 ・6月 6ヶ月の東部ツアー ・12月 NUカムデンで録音【18】【22】	・ベニー・モーテン楽団の旧派メンバーが、リー楽団からジェス・ストーン、ベイビー・ロベット(ds)、ハーマン・ウォルター(ts)などを引き抜き、サム・ヘイズ楽団を結成。 ・9月 パセオホールにてデビュー。	・モーテン楽団旧派による新楽団結成		11歳 ・アルトサクソを買ってもらえずが飽きて友人に貸しっぱなしにしてしまう	
	1932		・KCを中心に活動。 ・ファ・テル(voc)加入	・ウォルター・ベイジ脱退 ・レスター・ヤング(ts)加入			ジェス・ストーン退団				12歳 ・オリーブ通りへ引越す ・ミズーリ州チャールズ・サムナー学校へ1年通学
	1933	・TOBA崩壊 ・禁酒法廃止		・バンド解体	・夏頃 モーテン楽団からベニー・モーテン追放、ベイシーがリーダーに。KCチェリー・ブロッサムを中心に活動 ・バスター・スミス、レスター・ヤング加入(?)	・夏頃 モーテンは現楽団を離れて、自身の新楽団を作り、ジョージ・E・リー楽団と統合		・ジェス・ストーン退団			13歳 ・11月 KCサンセット・クラブがオープン。ビッグ・ジョー・ターナー(voc)とビート・ジョンソン(p)が常勤。
	1934		・ベン・ウェブスター・レスター・ヤング・パディ・テイトというチーターサクソ奏者の変遷を経て、ディック・ウィルソン加入	・フレッチャー楽団	・レスター・ヤング退団(フレッチャー・ヘンダーソン楽団へ) ・夏頃 モーテンと和解		・サム・ヘイズ退団。ハーラン・レオナードがリーダーになり、楽団をハーラン・レオナード・カンザスシティ・ロケッツと命名		・初頭 KCチェリーブロッサムでの伝説のジャムセッション。客演のコールマン・ホーキンスをレスター・ヤング、ベン・ウェブスター、ハーシャル・エヴァンス達が狭み撃ち。		14歳 ・5月 リンカーン高等学校を一時中退するが9月に復学
	1935			・7月頃 カウント・ベイシー & ヒズ・パロッド・オブ・リズム結成。KCのクラブを中心に活動。毎週日曜朝4:00からのスプーク・レイクフロント・パーティを主催		・1月 カウント・ベイシーがレギュラー・ピアニストに復活 ・4月 モーテン急死	・リー兄妹、個々に活動始める ・ジョージ・E・リーのバンドに、チャーリー・パーカーを含めたテン・コード・オブ・リズムのバンドを加えてハロウィングダンスの仕事。この際にパーカー達をロー・カル672に加入させる手助けをする				15歳 ・ローレンス・キーズとテン・コード・オブ・リズムのバンドに加入 ・秋 ジョージ・E・リーの支援でカンザスシティの音楽組合ロー・カル672のユニオンカードを取得してプロになる。 ・12月 リンカーン高等学校を正式退学
	1936		【10】 ・NYへ再進出、Deccaレーベルで録音。「Until the Real Thing Come Along」が大ヒット。		・ディブ・デクスターやジョン・ハモンドがダウンビート誌で楽団の大きな紹介 ・ハーシャル・エヴァンス(ts)、バック・グレイトン(tp)、ダン・マイナー(tb)など加入 ・バスター・スミス、ホットリップス・ベイジ退団 ・MCAとエージェント契約、Deccaレーベルとレコード契約 ・11月頃 東部ツアーを行い、NY進出。シカゴでは拉致メンバーによるVocalionレーベルへの録音【28】			・秋 マクシアン、オマハのおじの家を訪ねる途中で、KCのクラブを訪ね。そのままKCに居つく			16歳 ・6月レベッカ・ラフィンと結婚 ・KCのクラブのジャムセッションでへまをしたパーカーに対してジョー・ジョーンズがシンバルを投げつけたらしい ・10月 ジョージ・ウィルカーソンのバンドに参加してオザーク高原での仕事へ行く途中で交通事故。肋骨を折って入院 ・トミー・ダグラス楽団に参加
	1937			・春頃 フレディ・グリーン(g)加入 ・夏頃 エディ・ダーハム加入【30】		・初頭 楽団が一時解散 ・2月 トミー・ダグラス楽団から分裂した若いメンバーを吸収して、新生ロケッツを結成。	・モンロー・インを根拠に活動 ・バーン・デュークでチャーリー・パーカー(as)に出会う ・5月 バスター・スミスが楽団のリーダーの「ディー・プリンス」・スチュワートの楽団に参加。				17歳 ・オザーク高原での夏季リゾートの仕事。1936年のベイシーのレコードを持ち込みレスターの研究
	1938						・6月~8月 中西部、南部ツアー	・8月 10ピースのバンド結成	・2月~6月 バスター・スミスが自身の楽団を運営。解散後7月にスミスはNYへ。 ・春 ビッグ・ジョー・ターナーとビート・ジョンソン、NY進出するも失敗 ・1938年と1939年の12月の2回、ジョン・ハモンド主催のコンサート「フロム・スプリング・ユース・スウィング」がNYで開催 ・ビッグ・ジョー・ターナーとビート・ジョンソン、NYでVocalionレーベルへの録音。「Roll 'Em, Pete」がヒット。【15】		18歳 ・夏頃 レベッカ流産 ・11月 ジェイ・マクシアン楽団に参加するも、数週間後ハーラン・レオナード楽団へ移る
1939	・5月 トム・ペンダーガスト脱税で逮捕			・ダウンビート誌1月号でベスト・スウィング・バンドに選出 ・Columbiaレーベルと契約【32】			・初頭 チャーリー・パーカーを解雇する。 ・秋頃 メンバーを強化。ジェス・プライス(ds)、ヘンリー・ブリッジス(ts)、エフ・ジョー・ウェア(g)、フレッド・ベケット(tb)、ウィリアム・スミス(p)など加入 ・10月 MCAと契約	・ビッグバンドを編成 ・2月 ダウンビート誌「ディブ・デクスターの指導でシカゴの「オフ・ビート・クラブ」で演奏。 ・11月 Deccaレーベルに録音しようとしたところシカゴの音楽組合に止められる。	【14】 【16】 【10】	19歳 ・初頭 ハーラン・レオナード楽団を解雇される。 ・単身NYへ ・秋 父の死去でKCへ戻る ・12月(?) NYハーレムのダン・ウォールズ・チリ・ハウスで音楽的悟り	
1940				・11月 レスター・ヤング退団			・1月 シカゴにてbluebirdに録音【33】 ・NYへ進出 ・マイラ・テイラー(voc)加入 ・タッド・ダメロン(arr)加入 ・MCAとの契約解消	・3~4月 チャーリー・パーカー再加入 ・11月 KFBIラジオ局のスタジオで録音【29】		20歳 ・3~4月 ジェイ・マクシアン楽団再加入 ・冬頃 KCでデジー・ガレスビーと会う	
1941							・4月 ウォルター・ブラウン(voc)加入 ・ダラスとシカゴでDeccaレーベルへの録音。【35】 ・「Confession Blues」がヒット。 ・9月 ジョージ・ジャクソン(as)加入 ・末頃 NYへ進出			21歳 ・末頃 ジェイ・マクシアン楽団と共に再度NY進出	
after 1942		・1942年7月メアリー・ルー・ウィリアムズ退団 ・1950年代中期 クラウド・オブ・ジョイ解散		・1943年12月 レスター・ヤング復帰 ・1944年9月 レスター・ヤング退団(徴兵)	・1945年Capitolにジュリア・リー録音【12】	・1942年秋 拠点をLAに ・1945年頃 ハーラン引退	・1942年 チャーリー・パーカー退団 ・1944年 マクシアン徴兵により楽団解体	・1942年 バスター・スミス、ダラスへ帰郷 ・1954年 ビッグ・ジョー・ターナーの録音「Shake, Rattle and Roll」がヒット。【21】	・1942年 ジェイ・マクシアン楽団を退団。アール・ハイムズ楽団へ移る 【1】 【9】 【16】 【17】 【20】 【27】		

【●】 特集の退曲番号



レスター・ヤング



バスター・スミス



チャーリー・パーカー